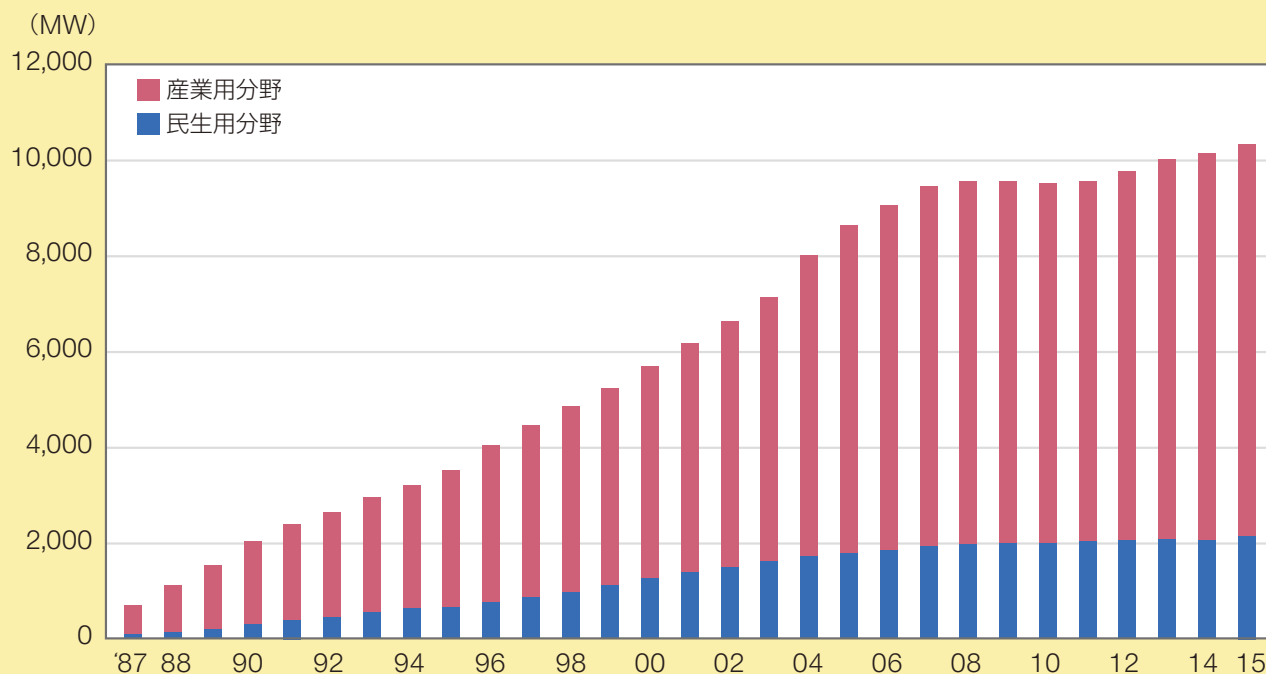


2015年度コージェネレーション導入実績について

2015年度の民生用・産業用のコージェネレーション(全燃料、家庭用を除く)の新設の導入状況としては、設置容量は23万9千kW、設置台数は811台となりました。2015年度末(2016年3月末)での累計設置容量(撤去・削減分を差し引いた値)は1,033万8千kWになり、2014年度末に比べて18万2千kWの増加となりました。



	合 計	民生用 (家庭用除く)	産業用	2014 年度末 (参考)
発電容量 (万 kW)	1,033.8	212.9	821.0	1,015.6
台 数	16,424	11,903	4,521	15,640

詳しくは

<http://www.ace.or.jp/>

コージェネ財団

検 索

編集後記

広報委員会 委員長 加藤 弘之

9月に入り、平成28年度コージェネ大賞の募集が締め切られました。第5回目となる今回も、例年に勝るとも劣らない意欲的で魅力ある候補が多く集まっています。本誌の導入事例で紹介した昨年度の特別賞「ユインチホテル南城」に代表されるように、昨今は大都市圏に限らず地方都市での旺盛なコージェネレーション導入が目立ちます。これは、「エネルギーの地産地消」とともにコージェネレーションが日本各地でエネルギー計画の要項に定着している証といえそうです。エネルギー自由化を契機とする「日本版シュタットベルケ（地域エネルギー会社）」の熱の高まりとも相まって、今後ますますコージェネレーション活躍の場が拡がりそうです。

2015年度のコージェネレーション新設容量は2年ぶりに増加に転じて、5.3%増の23万9000kWとなりました。広報委員会では、コージェネレーションの活用を通じて、皆様の更なる発展に寄与できるよう、関連情報の発信に努めて参ります。